

## ○ 結合金具に接続する消防用接続器具

結合金具に接続する消防用接続器具（以下、「消防用接続器具」という。）は、結合金具（消防用ホース又は消防用吸管に使用する結合金具をいう。以下同じ。）に連結して使用する消防用器具です。消防用接続器具の種類には、管そう、スムーズノズル、噴霧ノズル、媒介金具、スタンドパイプがあります。日本消防検定協会では、平成5年6月30日に定められた「結合金具に接続する消防用接続器具の構造、性能に係る技術基準」に基づいて、平成5年10月1日から鑑定試験を実施しています。

消防用接続器具の一般的な構造の特徴は、結合金具に接続するための差し口又は受け口を有し、それらの構造は、「消防用ホースに使用する差込式の結合金具」又は「消防用ホース又は消防用吸管に使用するねじ式の結合金具」の技術上の規格に適合する差し口若しくは受け口となっています。

消防用接続器具は、種類によって次のような特徴があります。

### (1) 管そう (写真1)

管そうとは、可搬式の放水専用の管そう（泡管そう等を除く。）をいい、受け口、胴部、ノズル結合部等により構成されています。受け口は、差込式若しくはねじ式の結合金具の受け口となっており、又、ノズル結合部は、JIS B 9913に定められたおねじに適合するものとなっています。受け口とノズル結合部は、

次の表の組み合わせとなっています。

受け口の呼称	75, 65, 50, 40, 30
ノズル結合部の呼称	75, 65, 50, 40

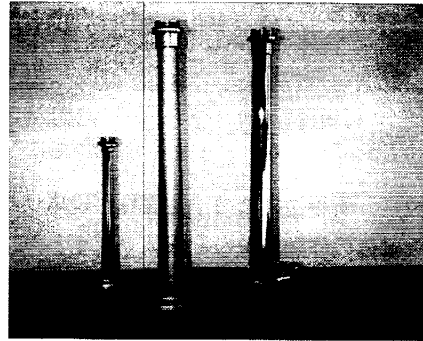


写真1 管そう

### (2) スムースノズル (写真2)

スムーズノズルとは、棒状放水専用のノズルチップをいい、結合部、放水口等により構成されています。結合部は、JIS B 9913に定められたおねじに適合するものとなっています。結合部と放水口は、次の表の組み合わせとなっています。

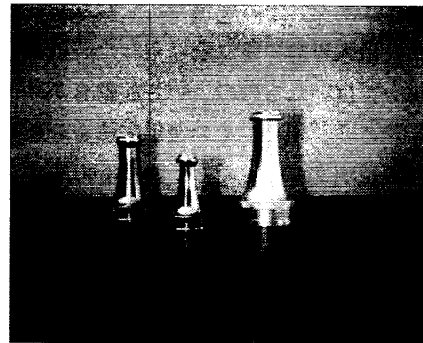


写真2 スムースノズル

結合部の呼称	75, 65, 50, 40
放水口部の呼称	13, 15, 17, 19, 20, 23, 26

上記の組み合わせによってできる胴部（水路）は、滑らかに絞込まれるようになっています。ただし、結合部の呼称が75及び40のものにあっては、放水口の呼称は、上記表の限りではありません。

### (3) 噴霧ノズル (写真3)

噴霧ノズルとは、棒状放水及び噴霧放水を兼用できる放水器具をいい、受け口、握り手部、胴部、棒状及び噴霧放水の切替え部、ノズル開閉操作部等により構成され、主に2号消火栓に使用されるものです。

受け口は、差込式若しくはねじ式の結合金具の受け口となっており、次の表のように区分されます。

受け口の呼称	40, 30, 25
--------	------------

また、放水性能は、次のように定められています。

ア 棒状放水において、放水圧力0.17MPa以上で、毎分130リットル以上の放水量を有し、かつ、ノズル先端の高さ1メートル、仰角5度において射程が7メートル以上であること。

イ 噴霧放水において、消火に有効な放射範囲を有するものであること。



写真3 噴霧ノズル

### (4) 媒介金具 (写真4)

媒介金具とは、受け口又は差し口を2以上有し、呼称や連結方式（差込式又はねじ式）の異なる結合金具相互を媒介して連結する金具をいい、流入側の受け口又は差し口、胴部及び流出側の受け口又は差し口等で構成されています。受け口及び差し口は、差込式若しくはねじ式の結合金具であり、次の表に掲げる呼称の組み合わせとなります。

差込式	75, 65, 50, 40, 30
ねじ式	150, 125, 100, 90, 75 65, 50, 40, 30
ねじ式（吸管用）	150, 125, 100, 90, 75 65, 50

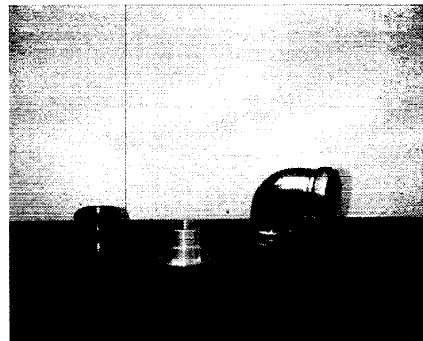


写真4 媒介金具

### (5) スタンドパイプ (写真5)

スタンドパイプとは、地下式消火栓に接続し、消防用ホース又は消防用吸管まで導水する可搬式の管をいい、流入側の受け口、胴部及び流出側の差し口等により構成されています。

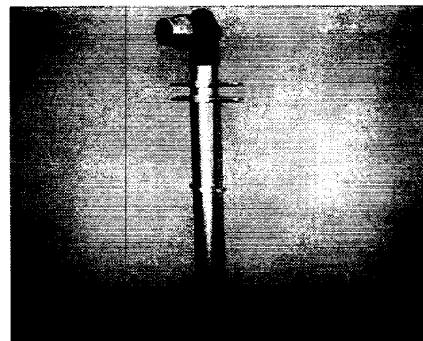


写真5 スタンドパイプ

す。流入側の受け口及び流出側の差し口は、  
次の表に掲げる呼称の組み合わせとなります。

流入側受け口	100, 90, 75, 65 50, 40
流出側差し口	100, 90, 75, 65 50, 40

